



「見どころたくさん!自然散策のススメ」

志賀高原自然保護官事務所 辻田香織

北アルプスに対峙して、群馬・長野・新潟の県境に沿って連なる2000m級の山々。これらの山々を中心とする上信越高原国立公園のうち、当事務所では中越～北信地域を担当しています。

植生は、緑が眩しい冷温帯ブナ林から、静寂な亜高山帯針葉樹林、視界が開ける高山帯植生などへと標高に応じて姿を変えます。これに湿原、湖沼、峡谷、滝…といった要素が組み合わさり、多彩な景観を生み出しています。

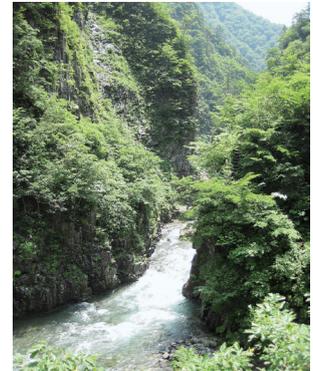
この中から選りすぐりをご紹介しますと、まず、山の景観を楽しまれるなら、谷川岳を中心とする谷川連峰がお勧めです。標高は2000m前後ですが、高山植生が発達しており、悠々と聳える雄々しい山並みを一望できます。



大沼池

次に、ブナ林での森林浴ならカヤノ平。ブナ林を抜けると、夏にはニッコウキスゲが一面に咲く湿原に行き当たります。湿原では、百名山の一つである苗場山の山頂湿原が一押しです。池塘が点々と浮

かぶ高層湿原が見渡す限り広がります。湖沼では、コバルトブルーの澄んだ湖面を混える志賀高原の大沼池。周辺に点在する湖沼巡りや針葉樹林の散策も併せて楽しめるとよいでしょう。渓谷なら、日本三大渓谷の一つに数えられる清津峡。深く切れ込んだ柱状節理の岩壁の間を清津川が縫うように流れ、清涼感に溢れています。滝は米子大瀑布。落差85mと75mの二条の滝が轟音を立てて柱状節理の断崖を流れ落ちる様は壮観です。また、当地域には温泉が豊富に湧き出ています。温泉好きの方には、中でも、松川渓谷を探勝しながら湯巡りを楽しめる歴史ある信州高山温泉郷をお勧めします。



清津峡

紅葉は標高の高いところから始まり、9月中旬から10月中旬頃まで楽しめます。この秋は是非自然散策にお越しください!

FOCUS

環境白書+動物園 コラボセミナーを 開催しました!

中部地方環境事務所では、6月1日に閣議決定された「平成22年版環境白書」の内容について、広く皆さんに知っていただくため、今年では中部管内の動物園とコラボしてセミナーなどを開催しました。

7月10日には富山市ファミリーパークを会場に、富山県・富山市・アースデイ実行委員会と共催し、ファミリーパークで活動しているいきもの市民メイトさんの協力で「みんなの環境フォーラムinとやま」を、7月17日には東山動物園を会場に、名古屋(東山動物園)との共催で「動物園で学ぼう!生き物の星地球環境セミナー」を開催いたしました。

環境白書のポイント解説と普段は聞いたり見たりすることのないバックヤードなどを市民団体や飼育員さんに案内してもらい、体験しながら環境問題について楽しく学び、ワークショップで互いに出ることを話し合いました。

「環境シンポジウム」を 開催しました!

第三次環境基本計画(平成18年4月閣議決定)の進捗状況を点検するため、「環境シンポジウム～多様な主体が参加する環境保全型地域づくり～」を7月13日に豊田市産業文化センターで開催しました。

この中部エリアでの人づくり・地域づくりの取り組みについて、豊田市の太田経営政策本部長、豊橋技術科学大学の北田教授、矢作川森林ボランティア協議会の丹羽代表、トヨタ自動車(株)の大洞グループ長の4名の地元の方にお話ししていただき、中央環境審議会委員などの方々とも意見交換をおこないました。

4名の発表者からは、豊田市の環境モデル都市に向けた市民の参画を得た様々な活動、田原市における立地条件を活かした自然エネルギーを活用した地域づくりの取り組み、流域を単位として森林を市民一人一人が調べて、知り、楽しめる活動を広げている活動、企業がNPOや行政と一体となって企業活動の地盤となる地での地域づくりの試みなど、非常に大きな課題ではあるけれども我々が直視しなければならない課題に取り組んでいることについて、興味深い話が展開されました。



実施しています!

清掃 ボランティア活動

中部地方環境事務所では、生物多様性の普及啓発の一環として、生物多様性をPRするポロシャツを着て、事務所周辺の清掃ボランティア活動を実施しています。(COP10までの毎週火曜日のお昼休みに実施。)

